

2018 SGH通信

【1年生配布用】

No.6 岐阜県立大垣北高等学校 SGH 推進部

高山フィールドワーク テーマ「高山の魅力活用」

いよいよSGH探究の本格スタートです。1年生の前半は、岐阜県の課題発見をテーマとします。ローカル探究第1弾のフィールドは「高山市」です。

皆さんは、6月29日に高山フィールドワークに出かけます。その中で、あるテーマにチャレンジしてもらいます。それは、「高山市の魅力活用」の提案です。前回、岐阜県のデータ講座を受けましたが、岐阜県全体の前に、高山市の「観光」に限定した課題に取り組んでいきます。

まずは、高山フィールドワーク終了までの流れを確認してください。

番号	日付	内容
①	6月8日（金）	高山フィールドワーク事前学習
②	6月15日（金）	高山フィールドワーク事前学習
③	6月22日（金）	高山フィールドワーク事前学習
④	6月29日（金）（終日）	高山フィールドワーク（1日散策）
⑤	7月6日（金）	高山フィールドワーク報告書作成

フィールドワークまでに、3時間探究の時間があります。この3時間の中で、グループで高山観光をテーマとした以下の課題に対して、仮説を立ててもらいます。高山市ではその仮説が正しいかどうか、検証をする時間を取ってもらいますので、そのための旅行計画も練ってもらいます。みなさんがチャレンジする課題は、次の課題です。

〈 高山フィールドワーク 探究課題 〉

「高山市の観光客増加に対し、持続可能な入込のためにどんな工夫ができるだろうか」

ポイントは、持続可能な観光客の入れ込みです。そのための解決策・活性化策を仮説としてグループで提案してみてください。

今回は、仮説として立てた解決法が本当に解決法として妥当かどうかをできる限り、調査してほしいと考えています。最終的には、仮説の検証を各自が報告書としてまとめてもらう形になります。

裏面には、報告書の様式と、報告書の評価規準を掲載しておきますので参考にしてください。

撮った写真やもってきた資料を貼付する欄があります。検証してきた証拠を最低1点はつけてください。

SGH フィールドワーク 調査結果の報告書

記録等（写真・パンフレット・地図等）

1年 組 第 号 氏名:

テーマ:

仮説:

仮説:

仮説:

調査方法:

調査結果:

採られた課題:

仮説として立てた活性化策を記入
準備では、仮説を3つほど立てますが、報告書は活性化策は1つだけ記入します。

検証が不十分な点、調べきれなかった点などを記入

（ 報告書の評価表 ）

	評価項目	1点	2点	3点	4点
1	テーマと仮説の関連	テーマに対する仮説が不適当である	テーマに対する仮説がやや不適当である	テーマに対する仮説は概ね妥当である	テーマに対する仮説は妥当である
2	調査方法	目的と調査方法が乖離している	調査方法が目的とやや乖離している	調査方法は目的に鑑みて概ね妥当である	調査方法は目的に鑑みて妥当である
3	調査結果 × 2	調査結果としての情報に有益さはない	調査結果としての情報の有益性は低い	調査結果としての情報は概ね有益である	調査結果としての情報は非常に有益である
4		結果に対する分析に論理性がない	結果に対する分析の論理性は低い	結果に対する分析は概ね論理的である	結果に対する分析は非常に論理的である
5	課題発見	今後のSGH活動に生きる内容ではない		今後のSGH活動にやや役立つ課題を発見している。	今後のSGH活動に非常に役立つ課題を発見している。
6	体裁	読むのに苦勞する報告書である	報告書の体裁を整えている		読みやすく、見栄えの良い報告書である